



緊急事態宣言解除にあたり 要望書を区長に提出

新型コロナウイルス感染者数が減らない、変異株の拡大状況も不明瞭な中、3月22日に緊急事態宣言が解除されました。日本共産党荒川区議団は、解除を目前にした3月19日金曜日、荒川区長あてに「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言解除にともなう緊急要望」を提出しました。当日は五味総務企画部長が対応しました。

感染症対策の最も基本原則である検査、保護、補償が極めて不十分、逆に政府内から「検査抑止論」が出されるなど、時の政権による「人災」ともいえる事態が続いてきました。

また、荒川区の新型コロナ対策に関する新年度予算は、ワクチン接種対策費が7割を占めています。ワクチン頼みでなく、大規模検査、十分な補償、医療機関への支援など感染症対策の基本的な施策にこそ金も人もつぎ込むべきです。そのため、右記の対策を直ちに実施するよう強く求めました。

要望書を提出する日本共産党区議団



<緊急要望の内容>

- 1、新型コロナウイルス・変異株の感染拡大から区民の健康と命を守るために
 - ①政府に対し社会的検査を高齢者施設、医療機関・障害者施設などの職員への定期・頻回実施、大規模モニタリング検査の実施、変異株の検査の大幅引き上げの実施を強く求めること。
 - ②高齢者施設職員への定期検査について区の計画に医療機関、障害者福祉施設職員とともに入所者や入院患者も対象に含めること。
 - ③東京都に対し、大規模モニタリング検査の実施と変異種検査の抜本的拡大を強く求めること。そのため区としての取り組みの具体化と体制整備を行うこと。
 - ④新年度予算にない区独自のPCRセンターについては、継続強化すること。
 - ⑤医療機関と関係者への区独自の支援を実施すること。
 - ⑥ワクチン接種については、集団接種とともに個別接種の体制を整備すること。
 - ⑦保健所としての本来任務である積極的疫学調査の実施とともに今後の社会的検査、大規模検査で感染拡大を抑え込むにふさわしい、恒常的な保健所体制の抜本的強化を行うこと。その際、保健師など専門職を計画的に増員すること。

2、暮らしと営業を守るために

- ①区内事業者のコロナ影響調査を訪問で実施し、相談の聞き取りや直接支援にもつなげること。
- ②区内産業の集積を守り、持続的発展につなげるためにも、事業継続支援の補助制度を実施すること。
- ③国や都の新規支援策の広報、手続きの支援など相談窓口をさらに強化すること。
- ④ひとり親世帯などへの家賃助成制度を検討実施すること。
- ⑤日曜開庁日に、生活保護や児童扶養手当など暮らしに関わる相談や手続きができようにする。

3、子どもの育ち、学びの場を保障するために

- ①図書館について、より徹底した感染予防対策を行って、閲覧席、座席、研究室、学習席など利用できるようにすること。
- ②荒川区で配置している小中学校のスクールカウンセラーを増員しよりきめ細かく対応できるようにすること。
- ③コロナ禍で子育て世帯の経済的な困難が拡大しており、スクールソーシャルワーカーの増員など対応を強化すること。

- 4、新型コロナ対応地方創生臨時交付金など補正予算で事業実施後に戻ってきた財源については、決算剰余金として全額基金に積むのではなく、コロナ対策の新規事業に思い切って振り向けること。また、大規模市街地再開発は、計画決定を先送りし徹底したコロナ感染防止対策とくらし応援に集中すること。

生理用品の無料配布が始まります！ 学校での配布も拡充

私は予算特別委員会で「#生理の貧困」を取り上げました。衛生を保つために必要なトイレペーパーと同じように、無料で生理用品を学校トイレに置いてほしいと要望しました。委員会で区は「検討する」と前向きに答えました。



区は生理用品の無料配布をすると、3月22日付で発表しました。防災備蓄物資入れ替え品を活用します。区の施設で715セット(24個入り×2パック)を用意します。本庁舎(子育て支援課)、アクト21、がん予防・健康づくりセンターのほか、フードパントリー等で配布されます。3月26日から順次配布されます。

数は少ないですが、ご活用ください。

更に、これまでも保健室で必要な場合に配布していた生理用品の数量を増やします。保健室に常備していることについて、トイレでの案内掲示等により分かりやすく周知を図ると報告がありました。衛生上の観点から、現状ではトイレに生理用品を設置することはできませんでした。子どもたちが気兼ねなく、安心して利用できるよう、引き続き環境整備を求めます。

他の自治体では、利用した分の返却を求める学校もあったようです。荒川区でそのようなことがないよう、要望しました。

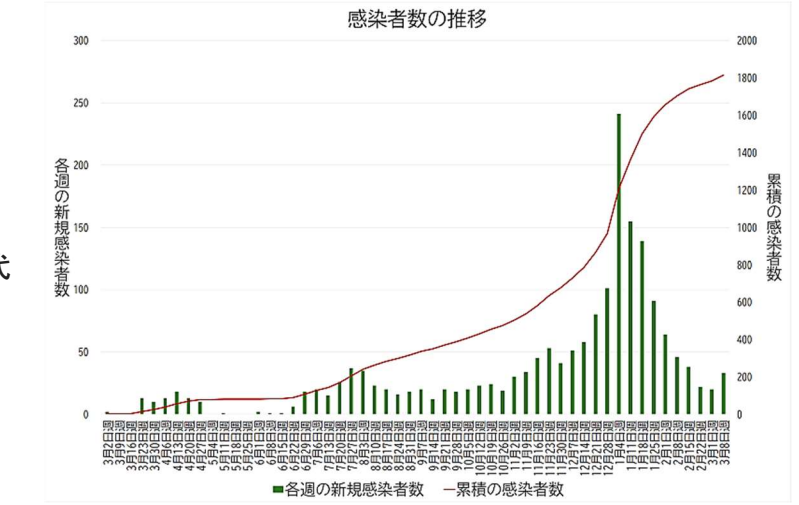


荒川区内の新型コロナ感染症状況

荒川区内の感染状況について区から報告がありました。3月15日までの累計は感染者数1,819人、うち死亡者数は17人です。3月9日～15日の状況は以下の通りです。
この間は、家族内感染などで児童の感染者が複数出たため、10代の割合が高くなりました。そのために自宅療養せざるを得ないケースが増えました。

区内感染状況(3月9日～15日)

- ・感染者数 38人(前1週間比+17人)
 - うち 入院10人、宿泊療養15人、自宅療養13人
- ・接触歴 あり 22人(57.9%)、なし 16人(42.1%)
 - 接触歴あり内訳 家族関連12人、友人関連10人
- ・症状の有無 あり 27人(71.1%)、なし 11人(28.9%)
- ・年代別 (右表)
- ・PCR 検査件数(陽性率) 126件(4.2%) (うち 医療機関8件、保健所110件、PCR センター8件)



10歳未満	1人	50代	2人
10代	8人	60代	3人
20代	7人	70代	5人
30代	4人	80代	2人
40代	6人	90代以上	0人



2021年春の荒川区交通安全運動(4月6日～15日)

春の交通安全運動が始まります。「注意一秒、けが一生」工事現場でも使われる標語ですが、この言葉の重さを実感しています。十分にご注意ください。

2020年 荒川区内で発生した交通事故

項目	人数/件数	前年比
事故件数	309	-39
うち自転車	183	-24
うち高齢者	113	-32
死者数	1	-1
負傷者数	335	-44

荒川区の交通事故件数、死傷者数は23区で最も少ない傾向で推移しています。他方、自転車や子ども、高齢者が関与する事故の割合が高くなっています。

また、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種イベントでの区民に対する意識啓発を行うことが難しくなりました。

当事者別死傷者数

区分	2020年	2019年	増減
歩行者	61	50	11
自転車	170	200	-30
原付	19	21	-2
自二	23	36	-13
四輪	62	73	-11
その他	1	1	0
計	336	381	-45

死亡事故 1件

2020年3月某日午後9時過ぎ、大関横丁手前常磐線ガード下付近の明治通りを走行していた車両が、横断禁止場所を横断していた歩行者と衝突したものと推定されています。



運転経歴証明書(画像はイメージ)

65歳以上の方が免許証を返納すると...

区に申請をすると1,000円分の図書カードをもらえます。2020年は270件の申請がありました。

免許返納はどうやるの？

警察署や運転免許試験場、各運転免許更新センターに、運転免許証を持参し申請する事で返納できます。(委任状により代理申請可)

また、身分証明書としても使用できる「運転経歴証明書」を申請できます。(申請方法は下記参照)

「赤色TSマーク」の取得を！



自転車の保険加入と点検整備が同時にできる「赤色TSマーク」。取得するには、自転車点検料と保健加入料、合わせて2,000円前後の費用がかかります。区では取得を促進するため、申請すると2,000円分の図書カード(新車を購入した場合は1,000円)が贈呈されます。

今年は226件の申請がありました。

【問合せ】

生活安全課交通安全係 電話:03-3802-3111(内線 489)

定例☆法律相談
何でも・お気軽にどうぞ
4月17日(金) 18時半～20時
北村あや子事務所